

## 南丹・丹後地区合同自主研修会を開催して

秋も深まり、各地の紅葉だよりが聞かれる季節となった11月21日（木曜日）午後1時から3時半まで、京丹波町和知ふれあいセンターにおいて南丹地区と丹後地区の合同自主研修会が開催されました。

当日は、幸い天候に恵まれたものの寒風が吹き冬到来も近いと思われる中、両地区とも委員各8名、市町担当者各1名の計18名と、京都行政評価事務所から鈴木所長と出野専門官、京丹波町から畠中副町長のご臨席をいただき、京丹波町和知担当の片山委員の進行によって開会しました。

南丹、丹後地区会長の挨拶の後、畠中副町長から住民と行政を繋ぐ相談役として重要な仕事をボランティアでお世話になっていることに感謝する旨の挨拶を、また、鈴木所長から行政相談行動計画とその実践にもふれた挨拶をいただき、その後、各委員から自己紹介と併せて活動報告をしていただきました。

今年は委員一斉委嘱替えの年でもあり、両地区とも各3名、計6名の新規委嘱委員がおられ、報告の中にも新しい息吹を感じる報告も聞かれましたし、意見交換の中では、出前教室や、老人クラブ等を対象とした行政相談懇談会の状況も話題になりました。

時間の経過するのも早くてまだまだこれからという所でしたが、人との出逢いは財産でもあり、住民の方々にも行政相談委員制度をもっと知っていただき、利用していただき、信頼をしていただくことが大切と、それぞれの委員が研修を通じて胸に秘められたことと思います。

この後、寒い中ではありましたが、近くの「山野草の森」(<http://www17.ocn.ne.jp/~sanvasou/>)施設の一部を見学していただき、またの再会を願い、今回の研修をご縁として個々の交流が進められることを期待して自主研修会を閉じました。

（報告：塩田 喜一（京丹波町担当））



挨拶をされる麻田・南丹地区会長



挨拶をされる吉岡・丹後地区会長



挨拶をされる畠中副町長



挨拶をされる鈴木所長



研修会の様子①



研修会の様子②



鈴木所長の挨拶（右隣は畠中京丹波町副町長）



熱心な意見交換風景（写真下）

